

学校教育目標	知:粘り強く学び、主体的に問題を解決する能力を育みます。 徳:命を大切にし、しなやかで豊かな心を育みます。 体:健康に関心を持ち、たくましく生きる体を育みます。 公:自分のよさや役割に気づき、社会に貢献する姿勢を育みます。 開:多くの文化や人と関わり、共生していく想いを育みます。				
	創立 78 周年 児童生徒数: 612 人	学校長 飯田 太	副校長 合澤 依希子	3 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 4
学校概要	主な関係校: 浦島小学校・神奈川小学校・子安小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	浦島丘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「人とのつながりを豊かにする社会性」 「課題解決能力」 「創造力と発信力」	浦島丘中学校 浦島小学校 神奈川小学 子安小学校	人とのつながりを大切にし、ねばり強く社会を生きぬく子 ・年2回の合同研究会における、9年間で育てる子ども像を意識した授業研究 ・年間4回のブロック担当者会における教育方針や行事等の調整 ・小中接続を意識した児童生徒交流 ・浦島丘中学校地区「学校・家庭・地域連携事業」における懇親会

中期取組目標	「チーム浦中」、全教職員が協働して信頼される学校を目指します。 ・生徒の目的意識を大切にし、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を実践します。 ・生徒一人ひとりが良さを発揮し、自尊感情を高め、成長できるようにします。 ・系統性を重視した意図的・計画的な健康教育や安全教育と体育的活動を進めます。 ・地域や社会のために自分ができることを考え、行動する姿勢を育てます。 ・コミュニケーションを通して支え合い、身近なところから行動できる力を育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①挨拶や時間を守ること等の基本的な生活習慣と学習習慣を身に付けさせ、基礎学力の定着を図ります。 ②生徒自らが細かく目標を設定し達成することで主体的に学ぶ姿勢を養い、学力の向上を目指します。 ③教科横断的に考える経験を通して、社会や生活で生かせる知力を育みます。
担当 教科研究部	
徳 豊かな心	①地域、保護者に年1回以上道徳の授業を公開します。また、人権学習を通して、人権意識の向上を図ります。②福祉委員会の活動を充実させ、国際理解を深め、社会に貢献する気持ちを育みます。③命の授業、平和教育、福祉教育、多文化共生、国際教育(教室)の推進に努めます。
担当 道徳指導部・特活指導部	
体 健やかな体	①新体力テストの結果をもとに、生徒一人ひとりが目標を定め、体づくりを実践する。 ②保健体育の授業を通して、体力の向上を図り、集団行動を通して、集団でのマナーやルールを身につけさせる。 ③保健指導部が行う保健安全教育では、学年に応じた内容で指導をしていく。
担当 保健指導部・保健体育科	
公開 自分づくり教育 (キャリア教育)	①3年間を見通して、「学ぶこと」、「働くこと」の意義や役割を理解させ、自己の進路選択や生き方を考える力を育む。 ②職場体験や職業講話では、当日の活動だけでなく、事前、事後の学習を充実させ、自己の進路選択や生き方を考える力を育む。
担当 特活指導部・総合研究部	
いじめへの対応	①生活委員会、生徒会を中心に、横浜こども会議などいじめの未然防止に向けて生徒が主体的に考える活動を発展させていきます。 ②年3回の学校生活アンケート及び定期的な教育相談に加え、YPアセスメントを年2回実施することで、いじめの早期発見、対応をすすめます。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①各部署の仕事内容・仕事分担を明確にし、全職員が学校運営に参画する意識を高め、組織的に動く体制を強化していきます。 ②メンターチームを積極的に活用し、メンバーが必要に感じている実践に直結した研修を行うことで教師力の向上を目指します。
担当 運営会・メンターチーム	
地域連携(防災)	①地区懇談会への生徒の参加を通して、地域の方々との顔の見える関係づくりをすすめます。 ②地域の防災への取組について生徒が主体的に考える活動を通して、地域に貢献する「人と人とのつながり」を大切にできる生徒の育成に努めます。
担当 生徒指導部・総合研究部	
環境教育(SDGs)	①環境美化においては、月1回委員会活動で「UCC(ウケマクスクリーン)」を行い、教室の環境整備や手洗い、ハンカチなど自分たちの生活環境を整える意識を高めます。②地球環境保全の姿勢を身につけるため、月1回福祉委員会で資源回収(アルミ缶、牛乳パック)を行い、その収益金を「サヘルの森」を通じてマリ共和国へ寄付する活動を継続実施します。
担当 道徳指導部・保健指導部	
特別支援教育	①個別の支援計画、指導計画の活用をすすめる、生徒一人ひとりの特性や状況を職員全体で共有することで、組織的に動き、「チーム」で指導にあたります。 ②研修を行い、具体的な指導法について共通理解を深め、個々の生徒に合った支援をすすめます。
担当 特別支援・国際理解教育委員会	
生徒指導	①学校のきまりについて、生徒自らが考え、話し合う機会を設定し、自分たちに必要なきまりを取捨選択しながら、きまりを守る意識を高められるようにします。②週1回の生徒指導部会を通じて共通理解を深め、事例を重ねることでよりよい指導ができるよう記録の充実にも努めます。 ③教育相談用紙を用いて、教育相談を充実させます。
担当 生徒指導部	